

「コクモンジのある庭（兵庫県・淡路島）」

— 自生資源の潜在的な価値に着目 —

地元高校で教鞭をとっておられた松本先生のシマサルナシについてのネット記事を拝見して、またまた速攻でご自宅を訪ねました。伺ったところ、御主人が早くから島内に自生するシマサルナシの潜在的な価値に着目し収集してこられたとのこと。記録をたどって、松本先生と友人の中野さんとともに、島内を巡りました。標高530mの相原山の山頂付近にはウラジロマタタビの自生がみられ、黒岩水仙郷近くの谷川沿いには、シマサルナシの自生樹を見つけることができました。

「シマサルナシ」は標準的な植物名ですが、自生地ごとに独自の呼称があり、淡路島では何故か「コクモンジ」と呼ばれていたとのこと。早くから「コクモンジ」に着目し自生資源を探索されておられた松本先生のご主人の着眼力と行動力に感服。

二〇〇五年十一月二十日

